

Boccadigabbia ボッカディガツビア

地域: Marche

地区、村: フォンテスピーナ

造り手: Elvidio Alessandri エルヴィディオ・アレッサンドリ

HomePage : <http://www.boccadigabbia.com/>

出会い:

ボッカディガツビアは、前社ル・テロワールでご紹介させていただきました。どのワインをとってみても、表面的でないしっかりとした味わいに満ちていました。たとえば、大変バランスがよく、飲み心地のよい [ロッソ・ピッチェーノ] は、イタリア・レストランでの食事の友としてとても親しまれていました。[サルタピッキオ] や [アクロンテ] もイタリアらしい個性があり、最近も [サルタピッキオ] の古いヴィンテッジをレストランで見つけ、懐かしさのあまり頼んでみました。大変美しく熟成した落ち着いた味わいに感激し、あらためて確かな腕前を確認しました。「ラシーヌでは、扱わないのですか」と、いろいろな方からお問い合わせいただいておりますが、気になりながらも日がたってしまいました。

今年の2月、オーナーで旧知の間柄であるエルヴィディオ・アレッサンドリから、FOODEXに出展する旨の連絡がありました。自分の目で日本のマーケットを見、自分のワインが日本でどのように評価されているかを確認できなかったから参加した、とのことでした。あいにく出張ですれ違いになってしまい、エルヴィディオに会ったのは最終日でした。「一番驚いたのは、ブースの間をまわっている人たちのほとんどが、『あっ、ボッカディガツビアだ』と立ちどまり、懐かしそうにテイスティングをしてくださったこと。かつて扱っていて何年のどのワインが好きだったなど、暖かくて確かなコメントをもらい、とても嬉しかった。短い滞在だったけれど、毎日とても愉快だった」と、エルヴィディオ。初来日を楽しんでいた様子で、その夜は六本木の焼き鳥バーで歓談に明け暮れました。

ワイナリーは小規模で、イタリアはむろんのことヨーロッパとアメリカで、すでに十分なマーケットに恵まれていました。なのに、わざわざ日本を訪れて何かを感じ取ろうとする生来の好奇心と、誠実で気取らない人柄に、あらためて心を動かされました。ボローニャ大学で経済学を修めたエルヴィディオは、目の動きと輝きからして、敏活な知性とユーモアの持ち主であることがうかがえます。はたして、彼のワインには派手な押しつけがましきや修飾が皆無で、軽やかさと落ち着いた雰囲気とともに伝わってきます。成熟に向かいつつある日本のワイン市場に、このようなタイプの「大人のワイン」があって欲しい——と痛感しましたので、量はともかくとしてラシーヌでご紹介させていただこうと申し出ました。エルヴィディオもまた、照れながら嬉しそうな風情を隠さず、再縁を喜びあった次第です。

歴史:

ドメーヌ創業年: 1970年

ドメーヌ解説:

どこからどう見ても極小のワイナリー、ボッカディガツビアは、様々な意味でマルケ州でもっとも興味深いワイナリーのひとつである。

1950年までワイナリーを所有していたのは、かのナポレオン直系の子孫、ルイージ・ジローラモ・ナポ

レオン・ボナパルト公だった。実際 19 世紀初頭から、ナポレオン家による経営のもと、ボッカディガッビアにはフランス品種が植えられていたのである。土地の人々が「ボルドー」、「フランチェージ」などと呼んでいた諸品種がそれだ。こうした遺産は、不幸にも競売にかけられ終焉するに至った皇帝領崩壊の際に、完全に失われてしまった。

こんなわけで、現在のオーナー、エルヴィディオ・アレッサンドリが、ピノ・ブラン、シャルドネ、ピノ・グリ、カベルネ・ソーヴィニオンを、伝統的なサンジョヴェーゼとトレッビアーノと一緒に植えたのも、まったく道理にかなったことだ。クオリティの面だけでなく、歴史的にみても意味のある選択なのだ。

ボッカディガッビアが造るワインは、以下の通り。卓越した複雑さを持つカベルネ・ソーヴィニオンのアクリン約 800 ケース、柔らかくフレッシュで早飲み型のロッソ・ピチーノ DOC を 5000 ケース、ピノ・グリ、ピノ・ブラン、そしてピノ・ノワールをブレンドした、深みのある独特の味わいのラ・カステッレッタ 350 ケース、そしてイタリアでもベストに数えられる樽発酵のシャルドネ、モンタルペルティを 250 ケース。そして最後に、ガルビと呼ばれる、シャルドネとトレッビアーノをブレンドした素晴らしく新鮮なワイン。

エルヴィディオの手になるボッカディガッビアの再生は、ごく最近の出来事であるが、とても情熱的な取り組みである。ただクオリティのみを追求した証ともいえる、ブドウ畑とセラーでの彼の業績を、賞賛しないわけにはいかない。畑とセラー、そしてすべてのワインのなかに味わうことのできる卓越性と興奮に関しては、オーナーと献身的なワインメーカー、ファブリツィオ・チュッフォリに敬意を表すべきだろう。ボッカディガッビアがすでにイタリア国内で集めている注目は、間もなくイタリアの国境を超えることと、私は確信している。

畑面積: 25ha

品種: モンテプルチアーノ、サンジョヴェーゼ、シャルドネ

年間平均生産量: 100000 本